

水稲V溝乾田直播栽培の生育状況等（5月1日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 はれわたり
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種
 キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月24日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）

■ 生育状況

圃場表面は乾燥しており、稲の出芽は見られていません。

ただし、V字状の溝内には適度な水分があり、土中で発芽・発根している種子もみられています。



圃場全景



土中で発芽・発根している稲



ラウンドアップマックスロード散布後に発生した雑草が散見

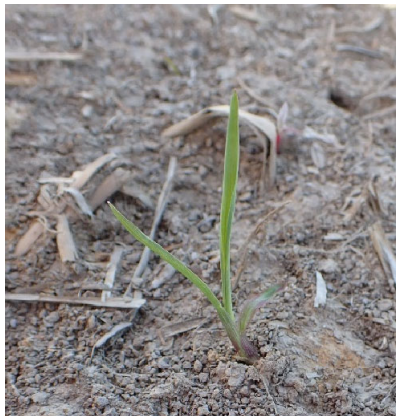


漏生稲（前年のこぼれ粃）は出芽し始め

■ 栽培管理のポイント

4月が高温傾向で推移したことから、稲の出芽や雑草の葉齢進展は例年よりも早まることが予想されます。なお、現地の乾田直播圃場（弘前市中崎地区）では2葉を過ぎたノビエがみられています。

ノビエやスズメノテッポウ等の雑草などが多い場合には非選択性茎葉処理剤が有効ですが、稲が出芽する前に散布する必要がありますので、圃場の状況をよく確認してください。



2葉を超えたノビエ
弘前市中崎地区
5月1日



スズメノテッポウとノビエ
つがる市木造地区
4月26日

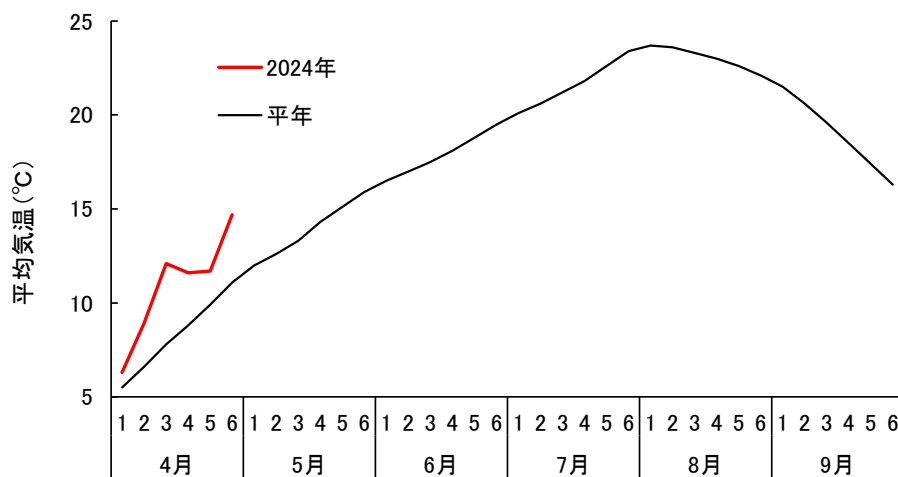


図 黒石アメダスの日平均気温（半旬別）

農林総合研究所のV溝乾田直播栽培圃場では、4月下旬に雑草の発生量が多かった外周部分に非選択性茎葉処理剤のラウンドアップマックスロードを散布しました。今後は、5月中旬頃にノミニー液剤を散布する予定です。